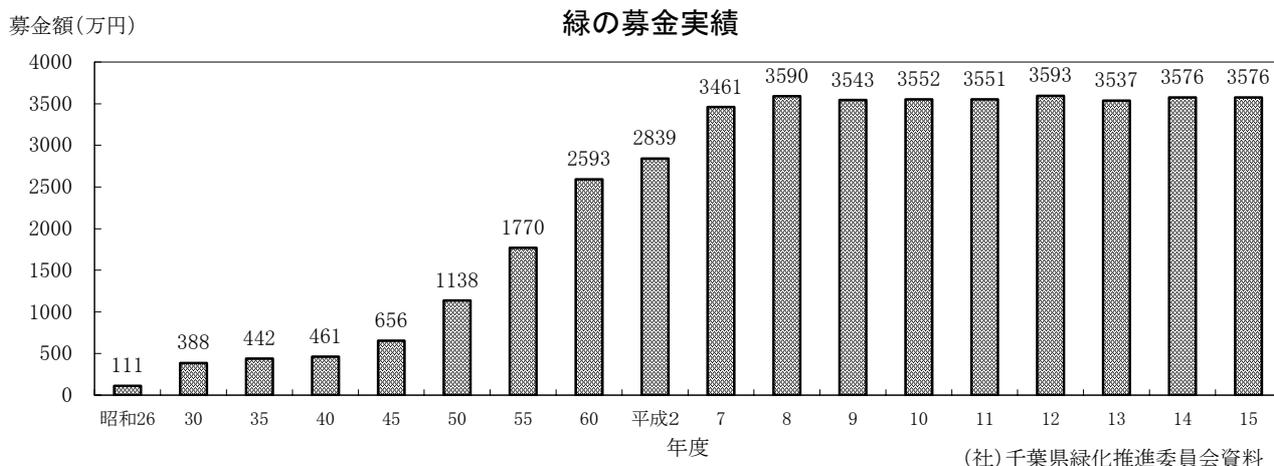


8. 環境緑化



— 県民参加の緑づくりを進める —

本県では、都市化が進むなか、森林に代表される緑への県民の要請は、ますます高まり、多様化している。

このような県民の声に応え、緑づくりに対する県民の参加と普及・啓発を図るため、県と社団法人千葉県緑化推進委員会は、全国緑化キャンペーン期間中(3/1～5/31)の「みどりの週間(4/23～4/29)」や「みどりの日(4/29)」に多彩な行事を展開している。

平成15年5月18日、木更津市の「かずさアカデミアパーク」に天皇皇后両陛下をお迎えし、「広げよう 緑の大地 豊かな心」をテーマに、全国各地から7,400名の参加のもと「第54回全国植樹祭」が開催されました。天皇皇后両陛下にはマキ・ツバキをお手植えいただき、また、マキ・シラカシ・ツバキ・スタジイをお手播きいただきました。

植樹祭記念行事として、ちば・ふれあいのみどり100選、里山再生プロジェクト及び千年の森づくり事業を実施し、併催行事として千葉市内で全国林業後継者大会を開催して県民に森林、林業の現状について啓発し、県民の緑づくりの意識の高揚に努めた。

また、戦後の山林の復興を目標に昭和26年から始まった緑の羽根募金は平成8年から緑の募金として新たに始まり、平成15年募金実績は35,765千円で、各種の緑化事業に役立てられている。

さらに、社団法人千葉県緑化推進委員会は、緑化推進事業の安定的な遂行のため、千葉県緑化基金(目標額2億円)の造成をすすめている。